

琵琶湖の 生きものと自然

～変わったこと、変わらないこと～

2024年12月、国連総会において8月27日が「世界湖沼の日(裏面参照)」と定められ、2025年が記念すべき最初の年となりました。そんな今だからこそ、あらためて、琵琶湖の生きものや自然について学んでみませんか？

現在、琵琶湖の中ではどんなことが起きているのか、昔と今とで、琵琶湖はどう変わったのか、これから私たちは、どんな琵琶湖と向き合っていくのか——琵琶湖の専門家にお話を聞きながら、生物多様性の視点を中心に、一緒に考えていきましょう。琵琶湖や生物多様性に関心をお持ちの一般の方はもちろん、これから学びたいという、中小企業含む各担当者も大歓迎!!!

ぜひ気軽にご参加ください。

2026年

2月10日(火) 14:00~16:30
オンライン開催
定員:100名

参加費 無料(SGN会員、GPプラン滋賀登録事業者、学生) 一般:1,000円

基調講演①

『琵琶湖の生態系はどう変わったか』

- 企業と地域が支える生態系の未来 -

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター総括研究員

石川 可奈子氏

基調講演②

『サステナブルツーリズムで』

三方よしは追求できるか~琵琶湖から世界への挑戦』

滋賀県立大学環境科学部客員教授 ILEC理事

山本 芳華氏

質疑応答・ディスカッション

【コーディネーター】

京都産業大学 経営学部 教授 宮永健太郎(SGN研究会メンバー/SGN運営委員)

【パネリスト】石川 可奈子氏、山本 芳華氏、

宇佐見 剛氏、千々岩 哲(SGN研究会メンバー)

主催: (一社)滋賀グリーン活動ネットワーク生物多様性と環境・CSR研究会

後援: 滋賀県/滋賀県地球温暖化防止活動推進センター/ILEC



一般社団法人 滋賀グリーン活動ネットワーク(SGN)事務局

〒520-0807 大津市松本1丁目-2-1大津合同庁舎6階

TEL:077-510-3585 FAX:077-510-3586 ✉ sgpn@oregano.ocn.ne.jp



SGNホームページ



『MLGs (Mother Lake Goals)』
『琵琶湖』を切り口とした2030年の
持続可能社会へ向けた目標(ゴール)

お申込み方法

下記URLまたは右の
二次元コードから、
「申込フォーム」より
お申込みください。



セミナー申し込みはこちら→

【お申込みURL】 <https://x.gd/XQ1y2>

2026年
締切 2月6日(金)

※一般の方は、申込後、2/6(金)までに
「参加費1,000円」をお振込みください。
振込先: 滋賀銀行 県庁支店 普通506188
シャ)シガグリーンカツドウネットワーク

【基調講演】講師紹介

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター総括研究員

石川 可奈子 (いしかわ かなこ) 氏

琵琶湖のほとりで育ち、小学生の頃から習っていたヨットを通して、琵琶湖が大好きになりました。しかし、当時(1970年代)の琵琶湖は赤潮が発生し、富栄養化と水質汚染が社会問題となっており、子供ながらに将来の水質に不安を感じていました。中学校での「琵琶湖学習」をきっかけに、琵琶湖について学び、琵琶湖の環境保全にかかわる仕事に就きたいと思うようになりました。大学では、水産学、環境微生物学、陸水学(湖沼生態学)を学び、現在の研究職に就いております。フィールド調査では、水中ロボット等の新しい湖沼観測技術を使って固有種、貴重種などのモニタリングを継続する傍ら、密かに未確認生物(UMA: Unidentified Mysterious Animal)を探索しています。



滋賀県立大学環境科学部客員教授 ILEC理事

山本 芳華 (やまもと よしか) 氏

サステナブルツーリズムや持続可能な地域マネジメントをテーマに研究しています。「環境問題」という言葉がではじめた学生時代、富士山の高山植物の植生調査で温暖化による植生上昇を知り、当時の行政や産業界の理解不足に危機感を覚えました。以来、文理の枠を超え、次世代によりよい環境を引き継ぐため、経済だけでなく社会・文化からのアプローチも重要であることを実感しています。



ILECでは、エコツーリズムを切り口に、次世代とともに琵琶湖の未来を考えるプロジェクトを実施してきました。私は、観光という産業が、環境を守るだけでなく、今ある状況よりもっと良くすることのできる可能性を持つと期待し、研究に取り組んでいます。

コーディネーター・パネリストの紹介



【コーディネーター】
京都産業大学 経営学部 教授
SGN研究会メンバー/SGN運営委員

宮永 健太郎

京都大学大学院経済学研究科修了、
博士(経済学)。専門は環境ガバナンス論。
著書に「持続可能な発展の話—「みんなのもの」の経済学」
(岩波新書)など。



【パネリスト】
株式会社滋賀銀行
総合企画部
サステナブル戦略室
サステナブル推進グループ長

宇佐見 剛 氏

2022年4月滋賀銀行入行。同年10月より総合企画部サステナブル戦略室にて、サステナビリティ戦略の企画、ファイナンスエミッション算定、責任銀行原則のインパクト評価に従事。前職は、格付投資情報センター(R&I)で証券化・ESGファイナンスアナリストを経験。



【パネリスト】
株式会社地域環境計画
大阪支社生物多様性
推進室 所属
/SGN研究会メンバー
ちらいわ あきさら

千々岩 哲

所属会社では主に環境省や地方自治体による環境・農山村分野の政策支援業務に従事。日本環境動物昆虫学会生物保護と環境アセスメント部会運営委員、滋賀県生きもの総合調査委員、伊吹くらしのやくそう倶楽部所属。

What is “世界湖沼会議”?

世界湖沼会議(WLC)は、世界の湖沼とその流域の持続可能な未来を考えるための国際会議です。

1984年に琵琶湖畔で開催された「世界の湖沼環境の保全と管理に関する滋賀会議(LECS'84)」において、国連環境計画(UNEP)のトルバ事務局長から定期的な継続開催が提案され、以降概ね2年ごとに世界各地で開催されてきました。

また、2024年の国連決議で制定された「世界湖沼の日」は、この会議が初めて開催された8月27日に由来しています。

WLCは、湖沼とその流域の持続可能な管理をめざし、学界、政府、市民、NGO、企業など多分野の参加者が意見や経験を交換する場として、世界的に広く認知されています。(ILECホームページより)



一般社団法人 滋賀グリーン活動ネットワーク(SGN)事務局

〒520-0807 大津市松本1丁目-2-1 大津合同庁舎6階

TEL:077-510-3585 FAX:077-510-3586 [✉sgn@oregano.ocn.ne.jp](mailto:sgn@oregano.ocn.ne.jp)



SGNホームページ

チラシ作成協力：アインズ株式会社